

授業科目	こどものためのピアノ I (AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11219J		
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP5-2			
担当教員	山路 麻佳、濱之上 史織、加藤 愛子(保育)、山本 佳代子(保育)、飯田 知津子、三重野 彩香、後藤 香織、香月 このみ、井原 花綸、西村 里美							
授業概要	保育者に求められるピアノ演奏技能について実践的に学ぶ。ピアノは幼児唱歌の伴奏以外にもリズムや園の様々な行事の際にも活用されるが、当科目ではそれらに柔軟に対応出来るようにするため、基礎的な力を培う。							
学生が達成すべき行動目標	1. 身体の使い方や手の構え、運指法などピアノ演奏技能の基本を習得することができる。 2. 「バイエル ピアノ教則本」の 100 番程度の曲や、マーチの演奏技能を習得することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				50		50	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
演奏技能の基本を習得した上で、「バイエル ピアノ教則本」100 番程度の曲やマーチを、適切なテンポや正しいリズムで演奏することができる。また、楽譜に記載されている強弱記号や発想記号をもとに、保育現場で活用することを前提とした表現力豊かな演奏をすることができる。				演奏技能の基本を習得した上で、「バイエル ピアノ教則本」100 番程度の曲やマーチを、適切なテンポや楽譜に記載されたリズムを守って演奏することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション 授業概要について説明し、履修形態や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を解説する。	シラバスを用いてのオリエンテーションを行う	次週からの本格的なレッスン開始に向けて個別に設定された課題曲の練習を進める。	90
2	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン1 「バイエル ピアノ教則本」3、4、5、6、7 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
3	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン2 「バイエル ピアノ教則本」15、16、18 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
4	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン3 「バイエル ピアノ教則本」22、29、35 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
5	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン4 「バイエル ピアノ教則本」40、46、48 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
6	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン5 「バイエル ピアノ教則本」51、52、55 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
7	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン6 「バイエル ピアノ教則本」60、62 番、ハ長調の音階	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
8	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン7 「バイエル ピアノ教則本」65、67、69 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
9	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン8 「バイエル ピアノ教則本」ト長調の音階、70、73 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
10	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン9 「バイエル ピアノ教則本」ニ長調の音階、75 番、イ長調の音階、80 番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語に	90

			ついて不明なものは事前に調べておく。	
11	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 10 「バイエル ピアノ教則本」ホ長調の音階、86、88、90番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
12	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 11 「バイエルピアノ教則本」イ短調の音階、93番、ヘ長調の音階、96番	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
13	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 12 「バイエルピアノ教則本」98、99番、「マーチ(課題曲)」1	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
14	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 13 「バイエルピアノ教則本」100番、「マーチ(課題曲)」2、3	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
15	テーマ:課題曲の演奏発表と授業のまとめ	指定する課題曲の演奏発表と授業のまとめを行う	当科目の振り返りをもとに自らの課題を明らかにした上で、次の「こどものためのピアノⅡ」の履修へ向けた準備を開始する。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				

29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	事前にテキストに目を通し、記号や用語の意味について理解しておくこと。また、可能であれば実際に楽器を使って楽譜に記載されている音と鍵盤の位置の関係を理解したり、指番号を確認しながら打鍵を行ってみたりして、各自でできる準備を始めておくこと。			
テキスト	音楽之友社『バイエル ピアノ教則本』			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	朝日出版社『最新・幼児の音楽教育』 その他「マーチ」等のプリント(楽譜)を各自の進度に合わせて適宜配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ピアノ演奏実技に関しては楽譜の知識も大変重要ですが、技能の習得のためにかける時間が大半を占めることとなります。せっかく習得した技能も、時間が経つと身体が忘れてしまうため、毎日の個人の反復練習が上達には欠かせません。毎回の授業の中で与えられた課題を習得していけるように、時間を見つけて毎日積極的に練習を積み重ねて下さい。			
達成度評価に関するコメント	課題曲の演奏発表の内容やその他の評価基準等については別途、授業内において伝達する。			